

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

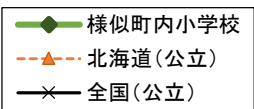
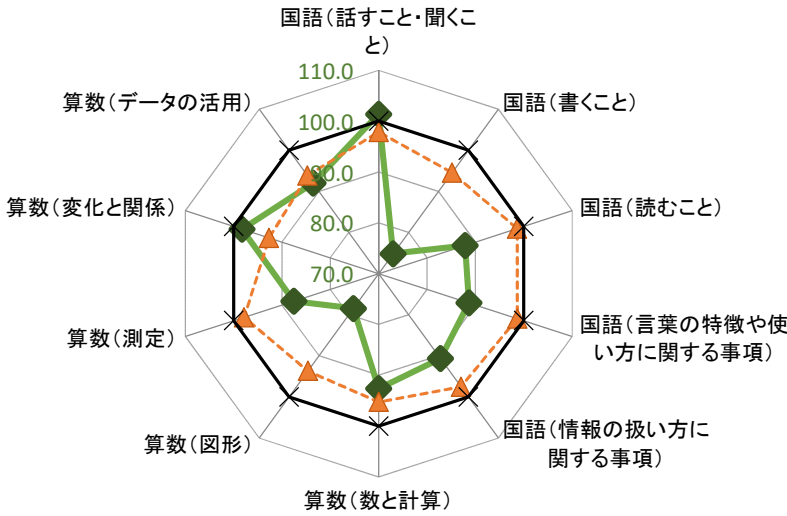
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

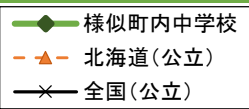
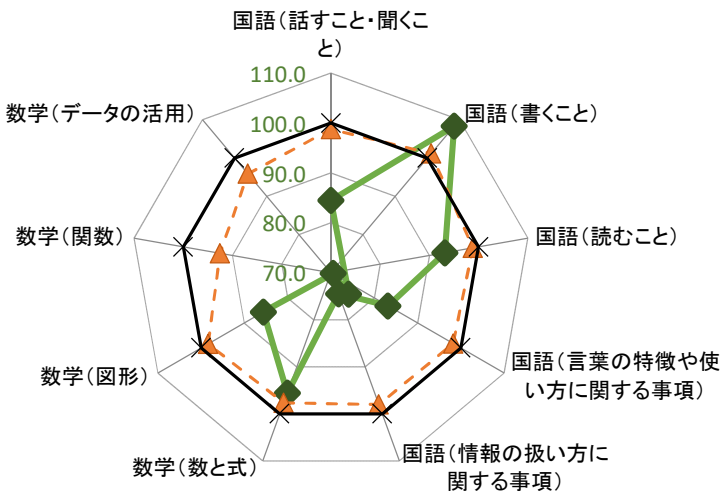
※中学校英語は4技能(聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと)の平均IRTスコア

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
様似町	55	52	57	46	474
北海道(公立)	59.6	53.6	63.3	55.0	490
全国(公立)	60.9	56.4	63.9	57.0	499

小学校



中学校

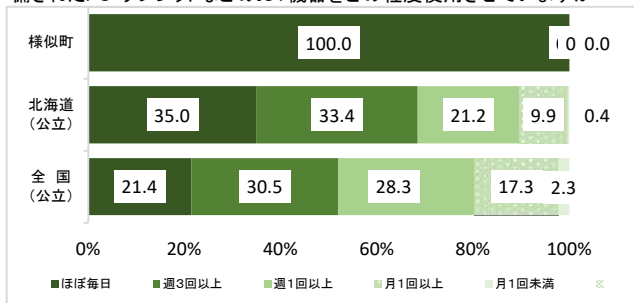


○ 質問調査の状況

小学校

<学校質問>

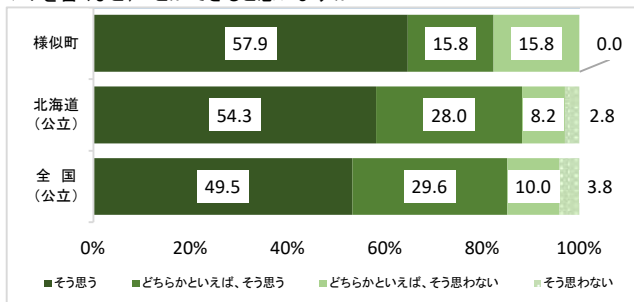
児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



小学校

<児童質問>

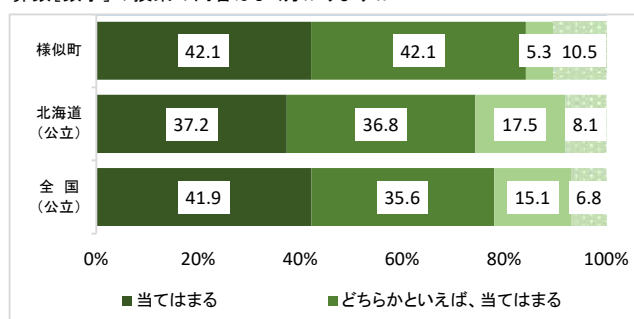
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができますか



小学校

<児童生徒質問>

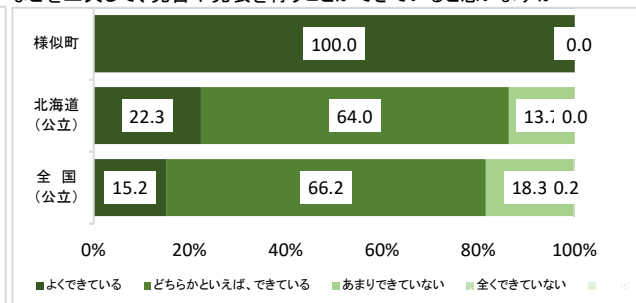
算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか



中学校

<学校質問>

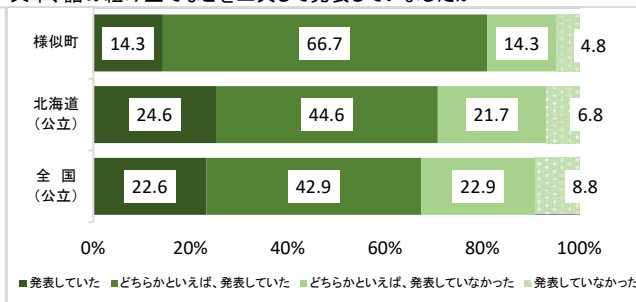
授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか



中学校

<生徒質問>

自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか



中学校

○ 調査結果の分析

- 小学校において、児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことにより、PC・タブレットなどのICT機器で文章を作成することができると思うと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 中学校において、言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて学校全体として取り組んだことにより、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 小学校算数並びに中学校数学の授業の内容はよく分かる及びどちらかといえばよくわかると回答した児童生徒の割合が全国・全道を上回っているが、習熟度別少人数指導等の成果と考えられる。

○ 今後の改善方策

- 学校種の垣根を越えた「小中一貫相互授業」による教員の指導体制の充実及び小・中学校教員の合同研修による課題共有と小・中統一した授業スタイルの推進

- ICT端末を活用した学習支援ソフトによる学習内容の定着及び自発的な学習の習慣化を図る取組の推進

- 小学校及び中学校における確かな学力の向上と安心して学べる学習環境づくりに向けた学習サポート教員や専門スタッフの配置促進